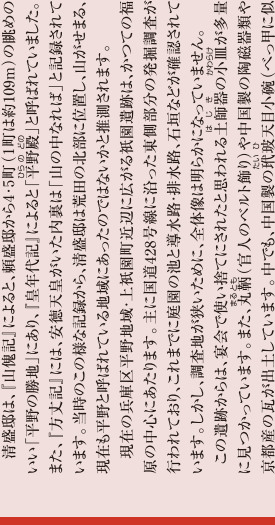
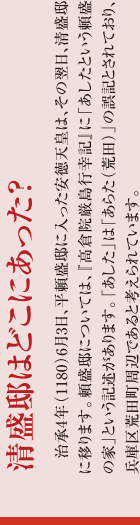
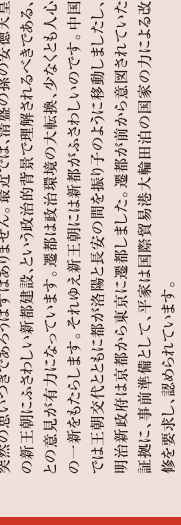


第 112 回 RAMBLE-SD6 例会のご案内

・2019 年 12 月 23 日

・2020 年 1 月 15 日 新年会お店変更

実施	コース名	今回幹事 (当日連絡先ケイタイ)
第 112 回	2020 年新年会 「神戸 喜楽館落語鑑賞と新年会」	西村 (携帯 090-6900-4572)
実施日	2020 年 1 月 24 日(金)	
集合時刻	JR 三ノ宮駅中央出口改札口 10:15	
交通 (参考)	野間君行 名古屋(ひかり 501)8:20 発→9:30 着新大阪 9:37 発→三宮 10:07 着 野間君帰、三宮発新快速、新快速 19:22 分 15 分間隔、快速 19:24 分 15 分間隔	
コース(概略) 散策(by 久保) 全 5.85km, 史跡 6カ所 時間に合わせて 省略もあり 熊野神社→願成寺 市バス 10 分間隔	<p>10:20 発 (次発 10:28) 地下鉄三宮駅から大倉山駅へ 10:23 着 (料金 210 円、所要 3 分)</p> <p>10:30 福原京平家ゆかりの地散策 (5.85km) 大倉山⇒荒田八幡神社⇒祇園神社⇒雪見御所旧跡⇒氷室神社⇒ ↓(2:30) 熊野神社⇒願成寺⇒湊川公園⇒グリルー平</p> <p>13:00 昼食 グリルー平 神戸老舗の洋食レストラン、オムレツ 850 円人気 喜楽館 道路挟んだ向かい (3,4 分)</p> <p>14:00 開演 喜楽館落語鑑賞 (開場 13:30) 前 5 席 中入 後 3 席 ↓</p> <p>16:30 終演 新開地商店街を散策し 16:40~16:52 新開地駅から阪神電車で元町駅 16:40 (特 4 分) , 16:42 (普 7 分)、16:52 (特)、16:54 (普)</p> <p>17:15 土佐清水ワールド中央通り店 (050-3491-9950) 新年会、2 時間 (時間制限有)</p> <p>19:15 解散</p>	
雨天対応	散策は中止するが、前売券購入済喜楽館と予約済新年会は予定通り実施	
装備・持ち物等	傘、街歩き服装と防寒用品、お茶	
概算費用	昼食 1,000・喜楽館 2,300 円・新年会 5,000 円 (?)・地下鉄 500 (合計≒10,000 円) 喜楽館前売り券購入済み (全指定席 1 階 B 列 5~10)	
その他		



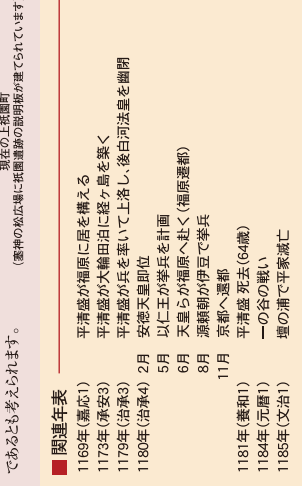
なぜ遷都したのか？

従来、福原遷都は、平安京においては、以仁王の背後にある勢力、特に奈良の寺院勢力の圧力を回避できなかったという判断での、清盛の突然の意思に基づいておこなわれたとされてきた。しかし100年も経たない平安京から都を遷すのが、突然の意思に基づいておこなわれたという考えは、清盛の政治的安堵策と、その後の新皇太子の即位に伴って、清盛が政治的背景で理解されるべきである、との意見が有力になってきた。遷都は政治的安堵策である。少くとも人々の心の中に、その遷都の理由が、政治的背景で埋め込まれるべきである、との意見が有力になってきた。遷都は政治的安堵策である。少くとも人々の心の中に、その遷都の理由が、政治的背景で埋め込まれるべきである、との意見が有力になってきた。...

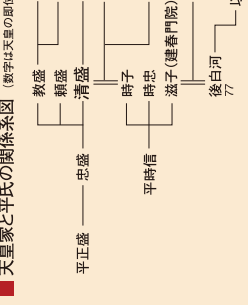
清盛邸はどこにあった？

治承4年(1180)6月3日、平頼盛邸に入った安徳天皇は、その翌日、清盛邸に移された。頼盛邸については、『高倉院藏鳥羽行幸記』に「あしたといふ頼盛の家」という記述がある。これは「あした(荒田)」の誤記とされており、兵庫区荒田町周辺であると考案されている。清盛邸は、『山内記』によると、頼盛邸から4.5町(1町は約109m)の距離の、北に「平野の勝地」にあり、皇代記によれば「平野殿」と呼ばれていた。また、『月天記』には、安徳天皇が内裏を「山の中央に」と記述されています。当時のこの様な記録から、清盛邸は荒田の北部に位置し、山がせまる、現在の平野と呼ばれていた地帯にはないかと推測されます。

現在の兵庫区平野地域、上標園町周辺に広がる福原遷都跡は、かつての福原の中心にあつた。主に国道428号線に沿った東側部分の発掘調査が行われており、これまでに「庭園の池」と「土蔵」などの遺跡が確認されています。しかも、調査地が狭いだけに、全体像は明らかになっていません。この遺跡からは、宴会で使われていたと思われる土師器の破片が多数に見つかっています。また、丸瀬(官人のベルト飾り)や中国製の武裝大刀小鏡(へづ甲に似た曲剣を使った儀式物)は、日本ではほとんど出土例のない、貴重な文物です。...



関係年表
1169年(嘉吉1) 平清盛が堀原に居を構える
1173年(承安2) 平清盛が穴輸田に登ヶ島を築く
1179年(治承9) 平清盛が兵を率いて上洛し、後白河法皇を幽閉
1180年(治承10) 安徳天皇即位
5月 以仁王が奉兵を計画
6月 天皇らが福原へ赴く(福原遷都)
8月 源頼朝が伊豆より平賀へ還都
11月 京都へ還都
1181年(建治1) 平清盛死去(64歳)
1184年(元暦1) 一の谷の戦い
1185年(文治1) 堀の浦で平家滅亡



コース周辺鉄道路線案内



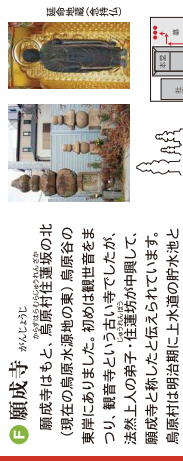
コースの最寄り駅

- 市営地下鉄西神・山手線「大倉山駅」(「三宮駅」より約3分)
「瀧川公園駅」(「三宮駅」より約5分)
神戸高速線「新開地駅」(阪急・阪神各「三宮駅」より約5分)
神戸電鉄「瀧川駅」(「新開地駅」より約1分)
JR「神戸駅」(JR「三宮駅」より約5分)

発行/兵庫区民まちづくり会議(事務局:兵庫区役所まちづくり課内)
〒652-8570 神戸市兵庫区荒田町1丁目21番1号
TEL(078)511-2111 FAX(078)511-5331
協力/高橋昌明、歴史資料ネットワーク、神戸市教育委員会、神戸市広域印刷登録 平成23年度第57-1号(広域印刷企画007)

能野神社

国生み神徳の主人公、イザナギ、イザナミの二神を祀る能野神社は、平清盛が福原遷都にあたって王城鎮座のため紀州熊野権現を勧請したと伝えられています。なお、大正7年(1918)の調査では、この付近の地下から、土器に絡められた貝の腕輪などの遺物が大量に出土し、先史時代から人が住んでいた形跡がうかがえます。



願成寺
願成寺はもと、鳥原村往蓮坂の北(現在の鳥原水源地の裏)鳥原合の東岸にありました。初めは観世音をまつり、観音寺という古い寺でしたが、法然上人の弟子、往蓮坊が中興して、願成寺と称したと伝えられています。鳥原村は明治町に上水道の貯水池とされたため、村は付近へ立ち返り、寺も現在の地に移動しました。寺には往蓮坊の石香や源平合戦で討死したいた平遠盛と小宰相、乳母、兵塚を祀する五輪の石塔が残りま...



厳島神社
平清盛による福原遷都、大輪田田の修築に際して事業の成就と兵衛の地の繁栄を祈願し、治承4年(1180)、平家一門の氏神として深く崇敬している安芸國厳島神社をこの地に勧請したといわれています。
なお、この神社では毎年神饗が行われます。これは心のない物質に対しても、そのお徳を感じ謝して祈る神通の信仰から来したものです。

コラム

幻の福原京

治承4年(1180)6月、以前から平家の別荘地であった福原(現兵庫区平野)の地に、安徳天皇、高倉上皇以下が大挙して訪れました。都遺跡の計画があつたので、これを福原遷都と呼びます。新都建設の初期候補地は兵庫区南部一帯で、中心は和田(輪田)の地です。正確には和田京遷都計画と呼ばれています。しかし、山が海に迫る神戸の地形では十分なスペースが確保できないとの理由で、計画は早々に放棄されました。7月半ばに成って、福原に皇居をつくり、これを中心として都市の整備を行う方針に転換します。清盛は、なんと福原に都としての実質を持たせようと考えたのですが、保守的な貴族たちの抵抗は次第に大きくなってゆきました。8月に源頼朝が平家の兵を率けて、皇居の建設や観音堂を派上流貴族への宅地給与は進んでゆきます。しかし反乱が全国化、深刻化する中で、11月下旬には天皇、上皇らが平安京に帰り、福原も福原より引き上げました。遷都の夢は約70日で挫折し、翌年清盛も京都で没しました。兵庫区荒田町の周辺には、清盛の弟の頼盛の邸宅があり、頼盛が福原遷都の調査が行われてきました。平成15年(2003)には、その一角に、平安時代のものと考えられる並行する2本の礎石遺構などが出土しました。

コース案内

史跡を巡りながら、幻の都に思いをはせる。
平清盛が平安京からこの地に都を選し、わずか半年ではありましたが豪華な営みがあった福原京。この福原京の中心地であったといわれるのが、兵庫区の平野地域を中心とする一帯です。この散策マップでは、平家一門の栄華を想ひながらその足跡をたどります。

A 荒田八幡神社
古くは荒田神社といい、後に至聖院境内にあつた八幡社を、神仏習合を避けて、明治31年(1898)にここへ合祀して、荒田八幡神社とされまし。この近辺の土地は、周囲より一段と高く、この高台付近が都の重要な地であったと考えられます。八幡神社付近には平清盛の身、池大納言平遠盛の山荘があり、治承4年(1180)6月3日の福原遷都の際には安徳天皇の行在所となり、境内には安徳天皇行在所社の跡のほか、昭和55年(1980)6月3日に建てられた福原遷都八百年記念の碑があります。

B 祇園神社
清和天皇の貞観11年(869)、姫路市城北にある瓜峰神社より京都八坂神社にスサノオノミコトの分霊を移す途中、その御輿が平野の地で一旦止まりました。それを記念してここに社を建てたのが始まりとされています。スサノオノミコトは、福原遷都の守護神とされた(平頭天理王と同一神)とされています。平清盛は遷都の準備を進め、福原遷都の際、福原神社の裏山で海部の響きを聞きながら計画を練ったと伝えられています。

C 雪見御所跡跡
石井川と天王谷川の合流点に位置する雪見御所跡は、平清盛の別荘「雪見御所」の跡といわれており、清盛が太政大臣の官職を辞した後の、天安4年(1169)春、藤原朝臣、頼朝平野のこの静かなに移り住んだことは、清盛自身の御経へのの上申の文章にみえています。明治41年(1908)に泰山小学校の校庭から礎石や土器などが発掘され、雪見御所跡跡の跡が建てられました。

D 氷室神社
氷室神社は、仁徳天皇の兄、額田王(中御門天皇)が氷室を築き、天皇家の皇位継承を願ったことから、仁徳天皇に祀りました。平清盛が福原遷都の際、七井天の一つとして、氷室神社を当社に勧請しました。付近に平清盛の別荘があり、後白河法皇が御遊されたといわれています。源平合戦の際には、平清盛が氷室神社に陣取ったため、この清水は、「陣馬の井」と呼ばれました。また、平清盛と妻・小宰相との別れの地ともいわれています。

E 福原京
福原京は、平清盛が平安京からこの地に都を選し、わずか半年ではありましたが豪華な営みがあった福原京。この福原京の中心地であったといわれるのが、兵庫区の平野地域を中心とする一帯です。この散策マップでは、平家一門の栄華を想ひながらその足跡をたどります。

コース付近のみどころ



MAP 1 宝地院
宝地院は、平清盛のすゝめで福原に都を遷し、二つにわけて入水した安徳天皇の御指を祀るため、弘安2年(1219)に建てられたと伝えられています。

MAP 2 東福寺
東福寺は、旧風平野村で最も古い寺です。もとの名を上通寺と称し、仁安年間(1168~1169)には、平清盛の寄進によって七堂伽藍を構えていました。元暦元年(1184)の源平合戦で焼失したと伝えられています。

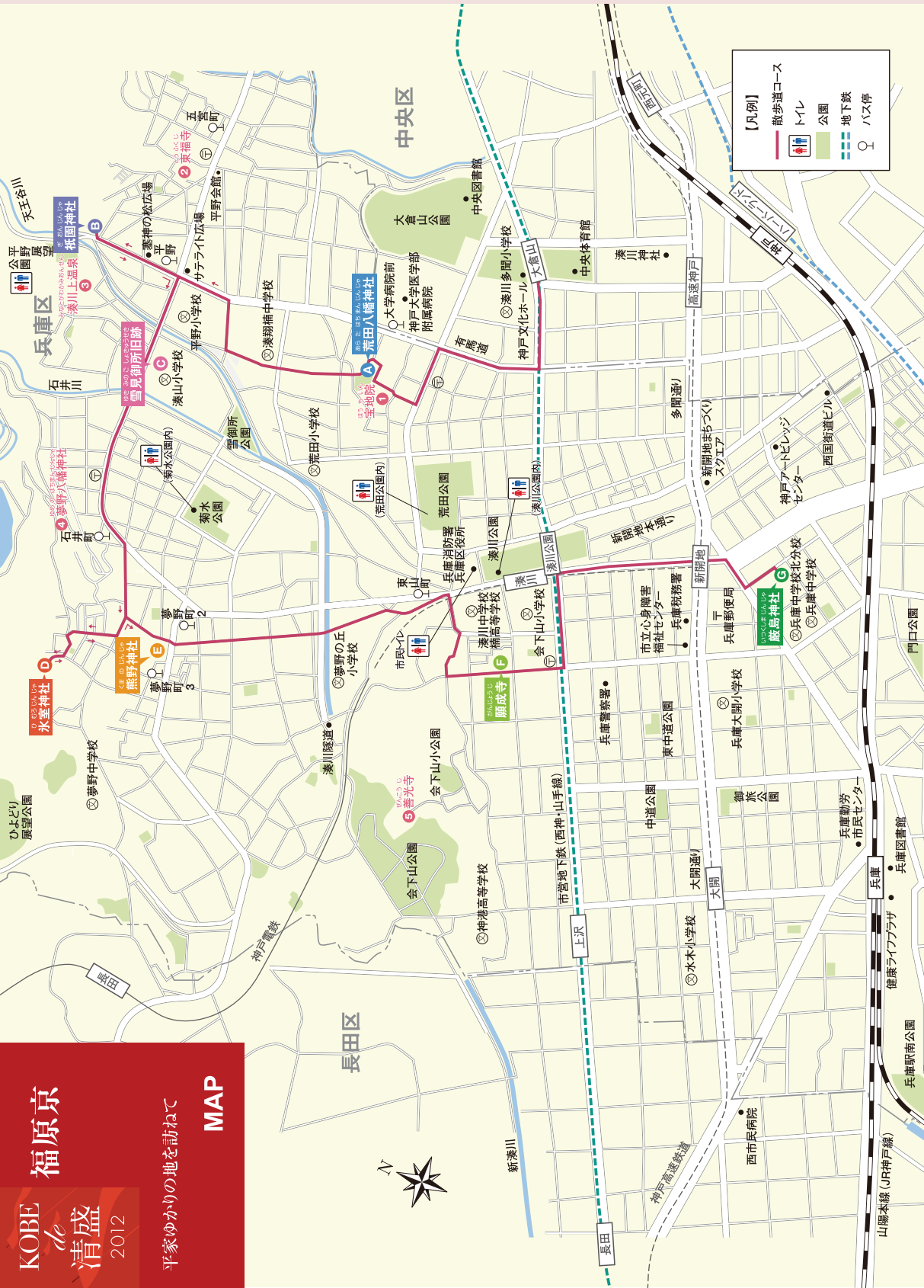
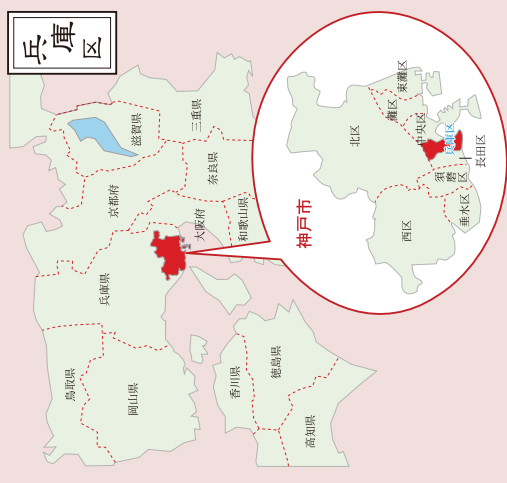
MAP 3 湊川上温泉
平清盛の福原庄の雪見御所の近くに湯屋(温泉)があったと、中山忠親の日記『山陽記』治承3年(1179)6月の条に記されています。その湯屋がこの温泉だとする説があります。清盛の時代の姿ではありませんが、源泉は同じであったと考えられています。

MAP 4 夢野八幡神社
福原遷都に先がけて、治承元年(1177)に建てられたと伝えられます。平清盛は、新都建設を計画し、福原の全域を展望できるこの場所での「のろし」をあげて、新都の位置を測ったと伝えられています。

MAP 5 普光寺
普光寺の境内には、平清盛の甥・平家盛の塚があります。源平合戦の際、朝越道から押し寄せた源義経軍に巻き込まれ、平家盛は浮き足立ちました。17歳の若武者だった家盛も源氏方に討ちとられ、この地に葬られたと伝えられています。

周辺情報

清盛七弁天めぐり
平清盛が、安芸国宮島の七つの海岸にちなんで厳島神社を勧請し、兵庫に七つ弁天の社を祀ったと伝わる平清盛ゆかりの社寺の散策コース。平成17年に「兵庫七弁天神社」を設立し、清盛七弁天めぐり実行委員会によって設けられました。このマップで紹介する厳島神社、清盛七弁天神社のほか、和神宮(和田通3丁目)、真光寺(松原通1丁目)、清盛寺(兵庫町2丁目)、豊林寺(兵庫町2丁目)、花隈厳島神社(中央区花隈町)をめぐり、スタンプ集めも楽しみます。
※場所によっては、兵庫区歴史文化センター「大開」のマップに載っています。



■ 福原京～平家ゆかりの地を訪ねて モデルコース [約4,900m:消費カロリー約148kcal]

- A** あらたまはちまんじんじや
荒田八幡神社
市営地下鉄西神・山手線「大倉山駅」より徒歩約15分
- B** ぎおんじんじや
祇園神社
市バス「平野」バス停より徒歩約3分
- C** ゆきみのこしよき
雪見御所旧跡
1000m 徒歩 約15分
- D** ひむろしんじや
氷室神社
1000m 徒歩 約15分
- E** くまのしんじや
熊野神社
市バス「夢野前3丁目」バス停より徒歩約1分
- F** がんじょうじ
願成寺
1000m 徒歩 約15分
- G** いつくしまんじんじや
厳島神社
神戸高速「新開地駅」より徒歩約5分